

令和元年度 第1回社会教育委員の会議 会議録

- 1 開催日時 令和元年7月30日(火) 10時15分～12時00分
- 2 開催場所 人材かがやきセンター研修室(中央生涯学習センター5階)
- 3 出席委員 13名
河田委員長, 福田智恵副委員長, 小林綱芳委員, 鈴木委員, 小林純枝委員,
福田治久委員, 大森委員, 小林剛委員, 深津委員, 熊倉委員, 小池委員, 増渕委員,
福田久美子委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 内容
 - (1) 報告事項
 - ① 宇都宮市の生涯学習・社会教育について
 - ② 平成30年度「第2次宇都宮市読書活動推進計画」に関する施策事業の実績評価について
 - (2) 協議事項
 - ① 令和元年度栃木県社会教育委員協議会評議員の選出について
 - ② 「うつのみや人づくり推進委員会」への委員の推薦について
 - ③ 成年年齢引き下げに伴う宇都宮市成人式のあり方等について

7 発言の要旨

事務局	【宇都宮市社会教育委員について説明】
事務局	【正副委員長選出について説明後, 小池委員に仮議長を依頼】
小池委員	皆様おはようございます。 委員長が選出されるまでの間, 仮議長を務めさせていただきますので, 委員の皆様にはご協力をよろしくお願いいたします。 「委員長及び副委員長の選出について」事務局より説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
小池委員	事務局より説明がありましたが, いかが取り計らいましょうか。
小池委員	特にご意見等ないようですので, 事務局案を提案していただこうと思いますがよろしいでしょうか。

全員	異議なし。
小池委員	それでは、事務局より提案してください。
事務局	【事務局より、河田委員を委員長、福田智恵委員を副委員長に提案】
小池委員	ただ今、事務局より提案がありましたが、河田委員、福田智恵委員をそれぞれ委員長、副委員長にという提案でありましたが、異議はございませんか。
全員	異議なし。
小池委員	異議なしとのことですので、決定いたします。 それでは、これからの議長につきましては、河田委員長をお願いいたしまして、私の役目を終わらせていただきます。 委員の皆様、ご協力ありがとうございました。
河田委員長	改めまして皆様おはようございます。 先ほどの小池委員の声は素晴らしい声で目が覚めたような気がいたします。私はあまりきれいな声ではございませんが、委員長を務めさせていただきますので、よろしくをお願いいたします。
福田智恵 副委員長	皆様おはようございます。 ただいまご選出いただきました市議会議員の福田智恵でございます。副委員長として、皆さんと色々協議を重ね、宇都宮市がより良くなるように努めてまいりますので、よろしくをお願いいたします。
河田委員長	それでは、報告事項①「宇都宮市の生涯学習・社会教育について」事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
河田委員長	ありがとうございました。 何か、御意見・御質問等ございましたらお願いします。
福田久美子 委員	市議会議員の福田です。 初めて社会教育委員の会議に出席させていただきました。社会教育、生涯学習では中身が大変広く、多岐にわたる事業をされていて、教育委員会の中でも重要な位置を占めているものだと思っております。この膨大な資料を送っていただいたのがつい先日ということもあり、私も勉強不足な点がございます。先ほどご説明ありま

したが、年4回という委員会の開催、委員になられている方達も大変お忙しい中、貴重な時間で委員会が運営されているということを重々承知しているところでございます。ただ、先ほど最初に言いましたようにものすごく重要な中身が沢山ある中で、すごく重責を担った気分がしており、責任ある答申などができるのかどうか不安になりました。そういう中で、社会教育の会議について、毎年やられているこの会議の内容や答申というのはどのように決められて回数の設定などもされているのか、ご説明をお願いします。

事務局

社会教育委員の会議の内容につきましては「宇都宮市社会教育委員について」の主な協議事項でもご説明させていただいたとおり、「社会教育関係団体に対する補助について」の協議や、年度最後の会議で次年度の「社会教育行政の基本方針と重点施策について」を協議するなど、通常であれば年3回程度の会議を実施してきているところでございます。しかし、今年度については、昨年度の最後の社会教育委員の会議で「成人式のあり方」について教育委員会から諮問をしており、「成人式のあり方」について協議をしていく必要がありますことから、年4回の会議予定としているなど、内容に応じて会議の回数を増やすなどしております。

諮問の流れにつきましては、重大な懸案事項、課題につきましては、教育委員会に諮り、適切な諮問であるという審議をさせていただいた上で社会教育委員の会議へ付議しているところです。過去の答申の調査事項も載せておりますが、現在の成人式のホテルを会場とすることや地域交流事業の実施などにつきましても、過去の社会教育委員の会議で答申をいただき、今の成人式の実施方法等を決定してきているものですから、前例にならしまして、今回につきましても答申をいただき、それを踏まえて新たな成人式をつくっていきたいということでお諮りしております。

また、今回資料提供が直前になってしまい誠に申し訳ございません。

福田久美子
委員

大体理解しました。

私の問題意識としては、大変幅が広く内容的にも濃いものが沢山あるという中で、例えば生涯学習センターの運営については運営審議会というものがあリ、視聴覚ライブラリーにも運営委員会があってそこと協議するなどして決めていくという流れなのだと思います。それに比べて図書館の運営については、社会教育委員の会議が直接という図になっています。図書館も以前は法的に定められた図書館運営協議会がありましたが、それがなくなり社会教育委員の会議がそれも含めてやるという流れだったと思っています。そういうことも考えると、社会教育委員の会議の中でやっていくにはあまりにも回数が少なく、中身もしっかりと把握しなければ責任をもった会議などしていけないかと思いますが、その辺りはどのようなイメージをお持ちでしょうか。

事務局

委員のおっしゃる通り、以前は図書館協議会について、宇都宮市図書館条例に位置付けられておりましたが、宇都宮市の行政改革の一環として附属機関の見直しを行い、図書館協議会で諮っている案件が社会教育委員の会議でも諮られているという

ことから、効率化を図り社会教育委員の会議で図書館の計画の進捗状況などについても報告するようになりました。ただし、その際に社会教育委員からは、図書館の利用者や専門家の意見が必要だろうというご指摘をいただいたことから、任意で館長が図書館の事業などについて10名の参考人の方から意見を聞くこととし、今回の図書館の読書活動推進計画の進捗状況につきましても事前に参考人から意見を聞き、それらの情報をコンパクトにまとめるなどの工夫をしているところでございます。それから会議の回数につきましては、今年度は4回の予定として整理させていただいておりますが、案件の進み具合に応じ、皆様のご意見を伺いながら回数を増減させることも可能でございますので、その際にはまた相談させていただければと思います。

福田久美子
委員

ありがとうございました。

言いたいことはたくさんありますが、時間の設定もありますのでこれくらいにしたいと思います。ただ、図書館の協議会については、これから宇都宮市が図書館そのものの運営を委託という形でどんどん進めていく中では、重要なことだと個人的には思っております。公平で市民の皆さんの意見をしっかりと吸い上げた図書館運営というものがこれから先も継続していくために図書館協議会の設置というのは、私はあるべきだと思います。

河田委員長

ありがとうございました。

社会教育・生涯学習に関しましては、たくさん内容がありまして、これからその辺を意見として聞いていただいて、図書館に関しましては後にまた報告があります。時間も限られておりますのでそのほかに何かございますか。

増淵委員

ご説明いただいた資料の中に、平成26年10月に社会教育委員の会議から出されている提言書がございます。この提言書は、何年間かごとに考えられている性質のものなのでしょうか。おそらく平成26年と今の令和という時代を見ますと、色々変更すべき、あるいは削除したり修正したり加えたりというのが出てくると思います。18歳の選挙権問題なども含めていくと、青年の社会参加の問題などもあります。また、グローバル化の問題、これも宇都宮も色んな外国の方々がいる地域性の問題、それから児童虐待などもあるわけですが、そういう新たな問題に取り組まざるを得なくなると思います。今挙げた例は思いつきですけども、それ以外にも多々あるかもしれませんので、この提言書を土台としながらも修正・加筆等のご意思があるのか、あるいはそういうことを考えることは良いのか悪いのかなどご意見が伺えればありがたいと思います。

事務局

提言書は特に何年おきなどの決まりや制限があるわけではございませんので、社会教育委員の皆様が、新たな形の提言書にお気持ちが一貫するようなことがございましたら、それに向け取り組んでまいりたいと思っております。しかし、優先順位をつけさせていただければ、今後スケジュールを説明させていただく成人式のあ

り方の答申をまずは優先的に考えていく必要があると考えております。その答申を作成中でのご意見などについては、今後、提言書の改訂などにあたりましても採用させていただくことが十分あるものと思っております。

小池委員

今の話について、今回、色々なところに「現代的課題」という言葉がずいぶんと使われていると思ったので、おそらくそういった部分を具体的にするとということが必要かと思いました。

河田委員長

他にございますか。

無いようですので、先に進みます。

それでは報告事項②「平成30年度第2次読書活動推進計画に関する施策事業の実績評価について」説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

河田委員長

ありがとうございました。

それでは御意見・御質問等ありましたらお願いします。

福田久美子
委員

今ご報告いただいた意見交換会ですか、私どもでは把握できない細かいところを参考人の方達から大変良い意見が寄せられているなという風を感じております。やはり社会教育委員の会議の中では、こういう実際にボランティアに関わっていただいている方や、図書館を利用されている方の意見を届けるにはすごく時間も短いし、私たちの把握も細かいところまでは難しいため、参考人の意見交換は中身が濃いなという風に感じました。そういう点からもやはり図書館の運営に絞った運営協議会がやはり必要だというのを改めて感じた次第でございます。

河田委員長

ありがとうございました。

社会教育委員の会議に限らず、図書館利用などに関してきちっとした運営協議会がほしいというご意見でございますので、その辺のご検討をお願いしたいと思いません。

他にございますか。

河田委員長

それでは協議事項に入ります。

協議事項①「令和元年度栃木県社会教育委員協議会評議員の選出について」及び協議事項②「うつのみや人づくり推進委員会への委員の推薦について」、事務局から一括の説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

河田委員長

①、②とあり、私今まで①の評議員をやらせていただいている、最初の委員会の時に、まだまだ社会教育というのはボランティア活動なのというのをすごく受けて驚きまして、社会教育に関してもこんなにたくさん教育の問題があるにも関わらず、こんな状態なのかと驚いたというのがあります。それと人づくりフォーラムの当日にも参加をさせていただいて、宇都宮市では社会教育に関わっている方達、30、40の団体の方たちがこんなに一生懸命、社会教育に関わって活動されているという姿を見て、社会教育の一つの良い評価がでているなということが行ってみるとわかりますが、でももっともっと力を入れていかないといけないなということも感じました。

何かご意見ありましたらお願いします。

ご意見が無いようでしたら、事務局から案をお願いします。

事務局

【事務局案として、栃木県社会教育委員協議会評議員に河田委員長、うつのみや人づくり推進委員に増淵委員を提案】

河田委員長

事務局から提案ありましたが、いかがでしょうか。

全員

異議なし

河田委員長

異議なしとのことですので、事務局案のとおりで、よろしくお願いいたします。

河田委員長

それでは次に進みます。

協議事項③「成年年齢引き下げに伴う宇都宮市成人式のあり方について」事務局より説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

河田委員長

ありがとうございました。

それではご意見などございましたらよろしくお願いいたします。

小林剛委員

青少年指導員として20年くらい成人式に携わっておりますが、受験など色々あるので20歳がいいと思っております。仲間と話しても大体は20歳でよいという風に思っております。実際18歳で成人式をやるというのは難しいかと思っておりますが、成人を18歳にした大きな理由としては選挙だと思っておりますが、今、高校生が選挙権を持っても選挙に行かないから投票率が下がってしまったという現状もある中で、成人式は20歳が良いと思っております。

大森委員

私は今回、選挙の立会人をやりましたが、高校生の数は少なかったと感じております。投票率を上げたい、政治に国民の関心を向けたいというところが、こういった制度になったと思っておりますが、議員の方もやはり中学生から20歳の人あたりに向

けたメッセージ、国をこうしたい、こういうものに関心を持ってもらいたいという
ようなのをもう少し主張してもらおうといいのではないかなと思いました。成人式に
ついては、20歳でお祝いしてお酒が飲めるというのが一番いいのではないかと
思います。

小林綱芳委員

私も成人式は20歳を対象とすることで結構です。しかし、先ほど高校生の選挙
の投票率が低いという意見が出ておりましたが、我々としては主権者教育というこ
とで取り組んでおります。文科省からテキストをいただき、特に今年は参院選もあ
りましたので、期末テストがあるにも関わらず授業の中で主権者教育を行って
おります。我々、高校の現場としてはそのように取り組んでも投票率が上がら
ないというのは、逆に言うと家庭における教育も必要であると思っております。

小林剛委員

高校で投票はできないのですかね。
事前投票のように各高校でできれば良い気もしますけどね。

小林綱芳委員

それは私の方では何とも言えない部分ですので、宇都宮市の選挙管理委員会にお
話しいただくといいかと思えます。

大森委員

投票所では投票済証明書というのを発行しています。企業では社員にそれを求め
るところもありますが、高校生にもその投票済証明書をもたらえることなどを周知す
ると、もらうことが思い出にもなっているのではないかななども思います。

福田智恵
副委員長

先ほどの投票所をたくさん作ればというご意見は確かにその通りだと思います
が、代弁する形をとりますと、投票所をつくる際には、投票の重複などを厳密にチ
ェックする必要があるため結構な費用がかかるということをお伝えしておこうと思
います。議会の中でもそういった議論は散々ありますが、中々進まないのはそうい
ったことがあることを御承知おきいただければと思います。

河田委員長

他にございましたらお願いします。

福田久美子
委員

まさに主権者教育と、これから成人を迎える人たちがどれだけ政治に対して関心
を持つか、政治に期待している期待ができていくかという問題だと思います。政治
に期待しなくなっていることの一つの表れであるとは捉えております。その中で、
投票できる、投票しやすい環境をいかに作っていくかも問題だと思っています。ま
た、常々思っておりましたが、自分が主権者になった時に「やったー」と思う若者
がどれだけいるかなというところでは、主権者であることに期待や喜びというもの
が感じられない社会になっていることが一番問題だと思っております。主権者教育
を学校でも色々とされていると聞く中では、投票権を持つということだけが、主権
者になるということではないと思います。もう一つは働くということについて、大
学生がブラックバイトなどで縛られる、働く者の権利を知らないということがとて

も問題だと私は思いました。社会に出ていくにあたり、働く側の権利も知らないまま社会に配置されてしまうような若者があまりにも多いということに私はすごく疑問を抱いています。一票を持つということと、働く者の権利ということも主権者教育としてやっていかないと考えております。

小林綱芳委員

労働法に関しては、現在の高校3年生になりますと、大体税に関する事など、テキストをいただきながらしかるべき指導を行っております

河田委員長

はい、ありがとうございます。
他に御意見がございましたらお願いします。

増渕委員

成人式の話が選挙の話になってしまい、社会教育委員としてこの問題をどう考えるかという議論がなく、ちょっと道がそれている気がしますが、小林綱芳委員の場合は宇都宮工業高校の校長先生ということで、工業高校は、高校全体からすると同一年齢の5%くらいの人達がおられ、商業高校は大体7%だと思います。社会に直結するそういう立場にあれば社会教育の立場からどういうお願いをするか、この委員会としても意見が出てくると思います。また、圧倒的に高等学校への進学率が高まっている中では、成人式を開催する時期など、成年年齢を引き下げることと一致しないことが沢山あるわけです。つまり受験に置き換えて言えば、成人式を18歳でやると参加者が減るであろうこととか、そのような現実的な問題との関係を社会教育委員の会議として、どう考えていくかという時に、その政治の問題や選挙の問題をリンクさせて語られてしまうと何が一番大切か見えなくなってくる気がします。お話しされているご意見が間違っているという訳ではなく、もう少し成人式の問題に焦点を合わせたご意見を期待したいと思いますがいかがでしょうか。

河田委員長

本日、皆さんに求めている意見というのは、最終的に答申を作成するのに、成人式を宇都宮市は20歳でやるのか、18歳でやるのか、19歳でやるのか、どれが望ましいのかという意見をまとめないと、この先に進めないということと、時期は1月でやるのかどこでやるのが望ましいかというのを皆さんに求めたいと思っております。どうしても成人を祝うという意識からすると、法律上、成年を迎えるのは18歳というのが2022年に来ますので、その上で選挙のことなども関連付けて議論が出てしまうのは当然あるのかなと思います。私もずっと大学教員をやっておりますが、現状としては段々とホントに逆行しているかと思っております。昔の私たちの大学時代、もっと先輩の大学時代からすると今の20歳の子たちはどうなのだろうと考えますと、成年年齢を引き下げるのは逆行していて、逆に30歳くらいを成人にしてもいいのかなと思いますが、逆に18歳にもっと自分を疑いなさい、意識をもちなさいということがあるのかなとも思います。あとは何かというと教育の問題で、家庭教育や学校教育もある中で、社会教育では実際に法律にあうようにこれから18歳に成人という意識づけをどう取り組んでいくかというのが求められている問題だと思いますけども、これを議論していくとまだまだ時間が足りませんので、この

辺で終了していききたいなと思います。本日みなさんにご意見をいただきたいのは、答申を作成していく上で、宇都宮市の成人式は何歳を対象とするのが望ましいのかという形で成人式に参加する年齢をまず決めたい、そして実施する時期も決めて会議を終了していききたいと思いますが、決をとってもよろしいでしょうか。

小林剛委員 私は20歳の1月が良いと思います。

河田委員長 ではもう大体皆さんの意見も出ていると思いますので、決をとっていききたいと思います。年齢としては、やはり20歳という意見が多いかなと思いますが、対象とする年齢は20歳としてよろしいでしょうか。

全員 異議なし

河田委員長 それでは対象とする年齢は、20歳が望ましいといたします。
また実施する時期については、「成人の日」が1月ですのでそれを考えると今までのように1月が良い、もしくはお盆にするのかななどの意見もあるかもしれませんが、いかがでしょうか。

今まで通り1月でよろしいでしょうか。

全員 異議なし

河田委員長 それでは答申につきまして、宇都宮市は20歳で1月に行うことが望ましいという形で進めていききたいと思います。

名称等に関しては、ここでまた議論すると、時間も限られておりますので、また案として出していただければいいのかなと、宇都宮市では20歳で1月ことが望ましいという形で案を作っていければいいのかなと思います。そのような形で成人式のあり方についてはこれで終了したいと思います。よろしいでしょうか。

増淵委員 その決定の前に、今までの慣例的なものを踏襲していくような議論ではなくて、これだけ生涯学習課の職員の方々がアンケート調査なり資料を揃えてくださり、ご尽力いただいたわけですから、公表する前にはそのご苦勞が十分に伝わるような表現を含めて公表していただければと思います。

福田智恵
副委員長 増淵委員の話も含めてなんですけど、成人を祝うというのはこれまでどおりの20歳の1月が望ましいということで今決定がなされましたが、18歳で成人にはなるわけです。市のアンケート調査の中にもありましたけれども、18歳成人に変わるわけですので、子ども達に対しては、先生は現場で高校生たちに色々やっていたと思っていますけど、我々の答申の中でも見える形でやはり18歳になった時の心構えであったりですか、社会に対する新たな認識であったりですか、あるいは犯罪っていうものに関しても、大きく変わってくると思いますので、そう

いった心構えをしっかりと教育の中で進めていく必要があると思います。また、高校に通っているお子さんは学校で教育の機会があると思いますが、そうでないお子さんも中にはいらっしゃる。中学校を卒業して仕事に就かれる子もいらっしゃるでしょうし、あるいはフリースクールなどで勉学に励む方もいらっしゃると思いますので、そういったお子さんにまできちんと宇都宮市の子どもの育成ということで情報が届くような形にしていく必要があると思いますので、社会教育委員の会議での答申の中にはそういったところも含めていけるようにと思いました。

河田委員長

ありがとうございました。
それではよろしいでしょうか。
以上で私の進行を終了させていただきたいと思います。
皆さん御協力ありがとうございました。

事務局

河田委員長，進行ありがとうございました。
それでは，次第「その他」になります。
事務局より連絡事項について説明させていただきます。
【配布資料および，次回の会議日程について説明】

本日は長時間に渡ってのご審議，誠にありがとうございました。
以上をもちまして，令和年度第1回社会教育委員の会議を閉会いたします。